

第 14 回目（1994 年 1 月 22 日放送）

【いろはがるた】

「安物買いの銭失い」: Buying cheap often means wasting money.

【話の内容】

北村光餘子アナウンサーがキリスト教アワーをやっているので、話をしてみた。北村さんに渡そうと思って、「ハワイ日本人キリスト教伝道 60 年記念誌」を探したところ、その記念誌にクリスチャン日系兵士に関する記事があった。1942 年 7 月 18 日日曜日の朝、4 人の日系兵士がウィスコンシンの教会に現れた。当時、反日感情が高まるアメリカであったが、クリスチャンの白人たちは笑顔で 4 人を迎えたが、誰も握手をするために手を差し伸べなかった。しかし、4 人は一番後ろの席に座り、讃美歌を元気に歌った。4 人の敬虔さを目の前にした教会の人々は、日系であっても同じ神を信じる仲間（信仰の仲間）だと日系兵士を見直し、さらに自分の 3 人の息子も軍に入っていた牧師は、クリスチャンソルジャーと親しみをもって迎え入れた。欧州での戦いに送られ激戦を経験した日系兵士の帰還（名誉の戦死も含む。）を、教会の人々はわが子が帰るかのように喜ぶとともに忠魂碑を作った。次の日曜日には、大勢のクリスチャンソルジャーが来て、自分の家に歓待した。このような日系人に対する反感の気持ちを前向きなものに変えてくれた 4 人のクリスチャンソルジャーとは、ホノルルからウィスコンシンへ行っていたイノウエ・シゲル¹、ミヤモト・タモツ²、スガヤマ・チョウショウ³、コバシガワ・ショウエイ⁴であった。

【曲】

「讃美歌⁵」(演奏: 小原百合子⁶)

【サブジェクトタグ】

¹ 1919 年ホノルル生まれ。第 100 歩兵大隊ではまずキャンプマッコイ、キャンプシェルビーでの訓練中は D カンパニーに所属。ヨーロッパに送られた後には、C カンパニーに所属となりイタリアカッシーノ戦線に送られ衛生兵として働いた。

² 100th Infantry Battalion Veterans Education Center のデータベースでは確認できず。

³ 100th Infantry Battalion Veterans Education Center のデータベースでは確認できず。

⁴ ワイアケア生まれ。兄弟に同じく 100 大隊に入った Yeiki Kobashigawa がいる。

⁵ 官約移民の人達がどのような讃美歌を歌っていたのかを以前、調べたところ 16 の讃美歌があったと大久保は話す。

⁶ 小原国芳（玉川大学教授）の娘である。

第二次世界大戦 二世部隊 キリスト教